

客間の明かり

桐生倶楽部拝見

④

高級感あるテーブルといすがどししりと置かれ、部屋の空気を引き締める4号室。入り口には「専用室」と書かれたプレートが下げられている。厚みある花柄のカーテン、レトロな緑のタイルが彩る暖炉、さわやかな富士の版画、そして温かみあるラ

「4号室」

「雑誌王」の醸し出す原風景

ンブが飾る部屋。着物姿の貫録ある男性を中心に、しとやかな妻、元気でかわいい子供たちが、何か祝いの食事を囲んでいる…。そんな光景が浮かぶのは、窓際に置かれたひげの男性の胸像のせいかもしれない。

この胸像は桐生出身の偉人、野間清治。講談社を起こし、「講談倶楽部」「少年倶楽部」「キング」など9大雑誌を創刊し、「雑誌王」と称された人物である。

庭のサクラはすでに満開。いつもとは違った雰囲気で、家族で和やかにお茶と会話を楽しんでみては。

(野)

【データ】▽桐生倶楽部 桐生市仲町二丁目9の36、電45・2755、社員外でも社員の紹介か、理事者の承認があれば有料で利用可能▽4号室 定員7人。半日4千円、午前9時から午後5時まで6400円、午後5時から9時まで5400円(冷暖房費、厨房ちゅうぼつ使用料など別途要)。

